

令和 8（2026）年度

学習院大学大学院 博士前期課程（秋期）

人文科学研究科・心理学専攻

入学試験問題

9：00～10：00 外国語

10：20～12：20 心理学

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】10:20~12:20	備考	問題用紙 (3) 枚中 (1) 枚目	採点欄			

(注意事項)

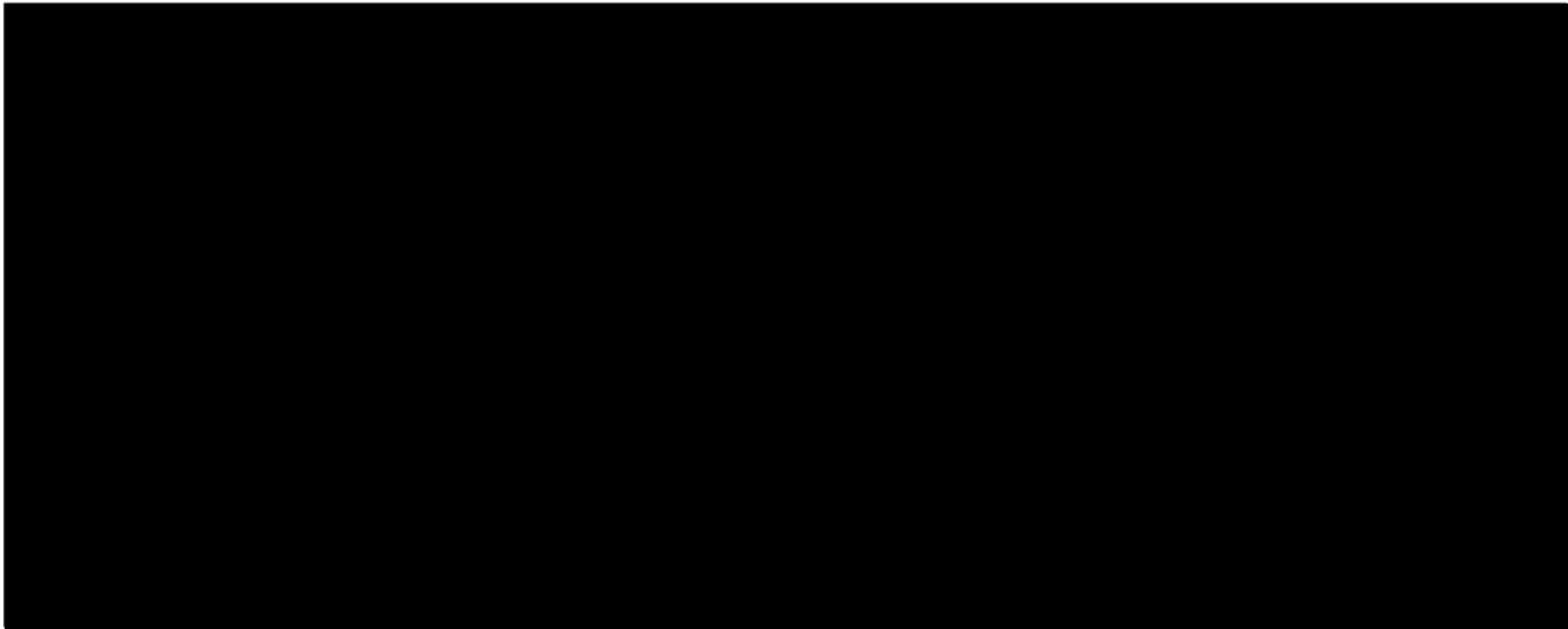
解答用紙は1問につき1枚使用し、問題の番号を明記して解答すること。ただし問題3－1と問題3－2は解答用紙1枚を使用して解答すること。

問 題

- 1 心理尺度の妥当性について説明しなさい。
- 2 心理学研究における倫理的配慮について、具体的な例を挙げながら説明しなさい。
- 3 下記の英文を読んで以下の問いに答えなさい。ただし文中の Chapter 4 と Figures 8.1 について問題文には示されていない。

3－1 Figure 8.3 の結果を得た研究の手続きを説明しなさい。

3－2 Figure 8.3 の結果が生じた理由（解釈）を説明しなさい。

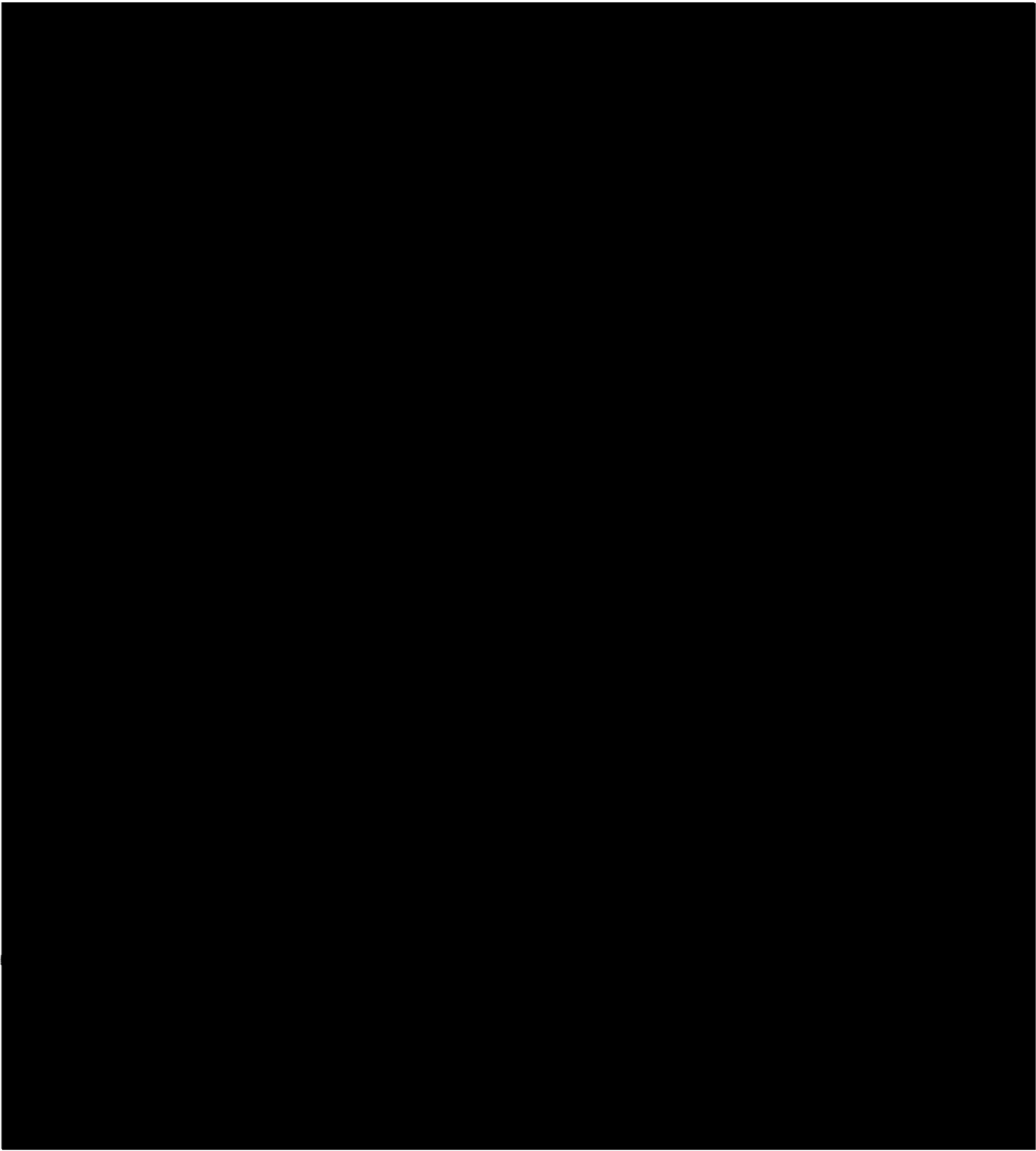


(2 枚目につづく)

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】10:20~12:20	備考	問題用紙 (3) 枚中 (2) 枚目	採点欄			

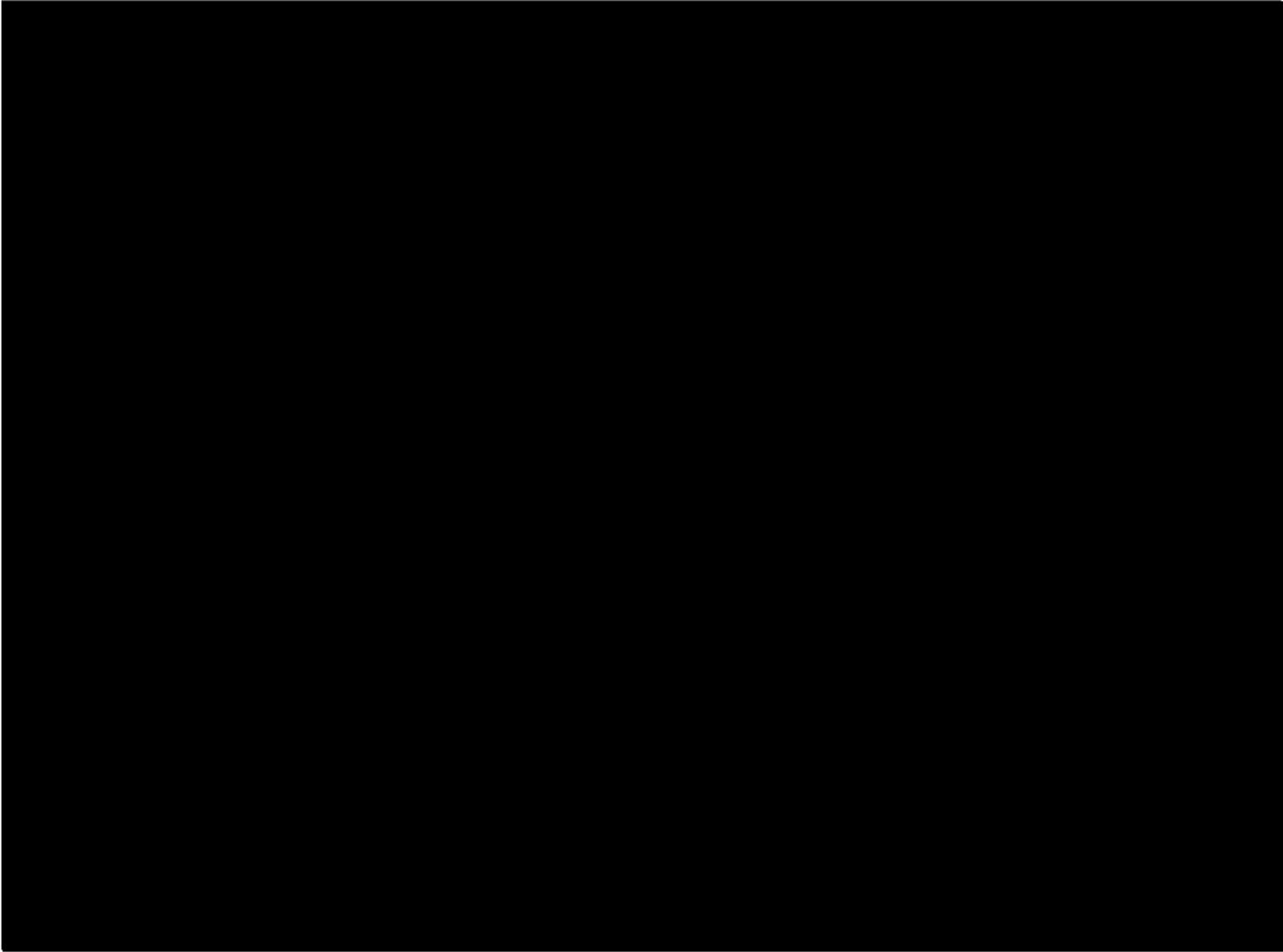


(3 枚目につづく)

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号		カナ	
						氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】10:20~12:20		備考	問題用紙 (3) 枚中 (3) 枚目		採点欄	



出典：
Huguet, P. & Kuyper, H. (2017). Applying social psychology to the classroom. In L. Steg, K. Keizer, A. P. Buunk, & T. Rothengatter (Eds.), *Applied social psychology: Understanding and managing social problems* (2nd ed.) (pp.172-192). Cambridge University Press.

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号	カナ	
					氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】10:20～12:20		備考	解答用紙 (3) 枚中 (1) 枚目		採点欄

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻		受験番号		カナ	
							氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】 10:20～12:20		備考	解答用紙 (3) 枚中 (2) 枚目		採点欄		

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins, text, or other markings on the paper.

2026 年度 学習院大学大学院 人文科学研究科 秋期入学試験

※太線わく内は必ず記入してください。

志望研究科	人文科学研究科 博士前期課程	志望専攻	心理学専攻	受験番号	カナ	
					氏名	
試験科目	心理学 【試験時間】10:20～12:20		備考	解答用紙 (3) 枚中 (3) 枚目		採点欄

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There are no margins or other markings on the paper.

◆出題の意図

問題 1

心理学の研究では、心理学的構成概念を、心理尺度を用いて自己報告法により測定することが一般的に行われている。このため、心理尺度の妥当性について理解していることは重要である。この問いでは、心理尺度の基本的概念を理解しているかどうかを確認した。一般的に、心理学者は妥当性について複数の観点から理解している。この点についても理解しており、その妥当性の種類（内容的妥当性、基準関連妥当性、構成概念妥当性など）についても、その内容とともに説明することを求めた。また実際の心理尺度作成の過程のなかで、これらの妥当性を担保する具体的な手続きを理解できることを確認した。

問題 2

心理学の研究では、研究対象者の尊厳の尊重や安全の確保のため、倫理的配慮を行うことが重視されているため、大学院進学後、自身の研究を進めていく上で必要となる倫理的配慮について理解できているかを問うことを目的として出題した。

問題 3

3-1

準実験の研究の理解として、問題文中の Figure8.3 に提示されている 2×2 の各条件がどのように設定されているか、また同様に従属変数がどのように測定されているか、を中心に、問題文から研究手続きを記述する際に必要な事項を選択して、具体的に記述できるかどうかを確認した。

3-2

問題文中に記述されている手続き（問 3-1）と Figure8.3 に示された結果を理解していることが解答の前提となる。その上で、この研究結果と、その解釈に関わる内容に該当する箇所を後半の問題文を通読する過程で見つけて、適切に翻訳できることを確認した。

◆解答又は解答例

問 1 ～問 3 は、一義的な解答例が示せないため、公表していません。